JPAB

CLIPPEDIMAGE= JP402231671A

PUB-NO: JP402231671A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02231671 A

TITLE: BETTING SYSTEM FOR TERMINAL FOR STAY-AT-HOME BETTING SYSTEM

PUBN-DATE: September 13, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

MANABE, HIDEO

INT-CL (IPC): G06F015/28; G07C013/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve operability, to execute betting by the preferable coupling of horses and to improve service to a customer by using a betting system by horse name selection.

CONSTITUTION: Based on the display information of pictures C, D and E selected by an operating mode selecting means 2a, the number of the couple, the number of a race and the name of the horse. Then, a result is displayed in a betted result display picture B and confirmed and the betting is executed. Otherwise, the betting input picture B is displayed based on the display information of a picture A selected by the operating mode selecting means 2a and afterwards, the number of the couple, the number of the race and the name of the horse are inputted. Then, the result is displayed in the betting input picture B and confirmed and the betting is executed. Thus, the fan service can be improved to a stay-at-home betting.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

[®] 公開特許公報(A) 平2-231671

®Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)9月13日

G 06 F 15/28 G 07 C 13/00

Z 7165-5B A 7347-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全7頁)

図発明の名称

在宅投票システム用端末による投票方式

②特 頭 平1-52134

②出 願 平1(1989)3月6日

@発明者 真辺

英 雄

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

内

⑩出 願 人 富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

邳代 理 人 弁理士 青木 朗 外4名

明知春

1. 発明の名称

在宅投票システム用端末による投票方式

- 2. 特許請求の範囲
- 1. テレビ放送処理機構を備えた文字多重放送 処理部(1)と、投票処理部(2)からなり、

前記文字多重放送処理部(1)からの文字多重放送 用のディジタル信号を変換して投票処理部(2)の計 算機システムに入力し、編集、処理した結果を前 記文字多重放送処理部(1)で表示する手段(①)と、

前記投票処理部(2)からの指示に基づき、前記投票処理部(2)の計算機システムのキーボード(KB)又はリモートキーパッド(8)により、電話投票システムに投票情報を送信する手段(18)とを備えた在宅投票システム用端末(9)において、

前記在宅投票システム用端末(9)における動作モードを選択する手段(2a)と、

投票する場合の、発売区分選択画面(A) と、投票入力の指示及び投票結果を表示する画面(B) と、表示する場合の、発売区分選択画面(C) と、前記

画面(C) での選択情報に基づくオッズ等選択画面(D.E) を含む表示手段(2b ~2f) とを備え、

前記動作モード選択手段(2a)により選択した画面(C,D,E) の表示情報に基づき組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票結果表示画面(B) に表示し確認して投票するか、

若しくは、前記動作モード選択手段(2a)にて選択した画面(A) の表示情報に基づき投票入力画面(B) を表示した後、組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面(B) に表示し確認して投票することを特徴とする在宅投票システム用端末による投票方式。

3. 発明の詳細な説明

〔概要〕

在宅投票システムにおける在宅投票システム用 端末による投票方式に関し、

在宅投票ファンに対するファンサービスの向上 を目的とし、

テレビ放送処理機構を備えた文字多重放送処理 部と、投票処理部からなり、前記文字多重放送処 理部からの文字多重放送用のディジタル信号を変 換して投票処理部の計算機システムに入力し、編 集、処理した結果を前記文字多重放送処理部で表 示する手段と、前記投票処理部からの指示に基づ き、前記投票処理部の計算機システムのキーボー ド又はリモートキーパッドにより、電話投票シス テムに投票情報を送信する手段とを備えた在宅投 票システム用端末において、前記在宅投票システ ム用端末における動作モードを選択する手段と、 投票する場合の、発売区分選択画面と、投票入力 の指示及び投票結果を表示する画面と、表示する 場合の、発売区分選択画面と、前記画面での選択 情報に基づくオッズ等選択画面を含む表示手段と を備え、前記動作モード選択手段により選択した 画面の表示情報に基づき組番、レース番号、馬名 を入力し、その結果を前記投票結果表示画面に表 示し確認して投票するか、若しくは、前記動作モ ード選択手段にて選択した画面の表示情報に基づ き投票入力画面を表示した後、組番、レース番号、 馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面に表

示し確認して投票するように構成する。

[産業上の利用分野]

本発明は在宅投票システムにおける在宅投票システム用端末による投票方式に関する。

投票券発売システムの如きトータリゼータシステムにおいて、投票券の購入方法として、場内、場外の投票券発売窓口にて馬券等の投票券を購入する現金投票システムと、会員制による電話投票システムがある。

これらの内、電話投票システムは、顧客が競馬、 競輪等の情報を、新聞、テレビ、ラジオ等を利用 して収集し、自分で解析した結果に基づき電話機 を用いて予め定められた手順によるキー入力によ り投票している。

〔従来の技術と発明が解決しようとする課題〕 第6図は従来の電話投票システムの構成例を示 した図である。

電話投票システム3は、年毎に着実に設備、加

入者とも延びているが、端末が電話機7旦つ有線は、音声応答システム(ARS システム)では1回の名は投票が高さいるとのでは1回の公当たりの通話時間を60秒として1ヶ大では1回の投票当たりの通話時間を60秒としてステムでは1回の投票としないでは1回のででは2000人、に1つの電話というの加速が超った。

本発明の目的は、顧客が家庭において、競馬、 競輪等のレース結果を判断し、効果的な投票を行 うことができる在宅電話投票システムにおいて、 使用される在宅投票システム用端末による投票方 式により、在宅投票ファンに対するファンサービ スの向上を図ることにある。

[課題を解決するための手段]

第1図は本発明の在宅投票システム用端末によ

る投票方式の原理図である。

本発明は、テレビ放送処理機構を備えた文字多 重放送処理部(1)と、投票処理部(2)からなり、前記 文字多重放送処理部(1)からの文字多重放送用のデ ィジタル信号を変換して投票処理部②の計算機シ ステムに入力し、編集、処理した結果を前記文字. 多重放送処理部(1)で表示する手段(①)と、前記 投票処理部(2)からの指示に基づき、前記投票処理 部(2)の計算機システムのキーボード(KB)又はりモ ートキーパッド(8)により、電話投票システムに投 票情報を送信する手段(18)とを備えた在宅投票シ ステム用端末(9)において、前配在宅投票システム 用端末(9)における動作モードを選択する手段(2a) と、投票する場合の、発売区分選択画面(A) と、 投票入力の指示及び投票結果を表示する画面(B) と、表示する場合の、発売区分選択画面(C) と、 前記画面(C) での選択情報に基づくオッズ等選択 画面(D,E) を含む表示手段(2b ~2f) とを備え、 前記動作モード選択手段(2a)により選択した画面 (C, D, E) の表示情報に基づき組番、レース番号、

馬名を入力し、その結果を前記投票結果表示画面 (B) に表示し確認して投票するか、若しくは、前記動作モード選択手段(2a)にて選択した画面(A) の表示情報に基づき投票入力画面(B) を表示した後、組番、レース番号、馬名を入力し、その結果を前記投票入力画面(B) に表示し確認して投票することを特徴とする。

(作用)

 介して競馬会の総合センタ 4 内の電話投票システム 3 に送信される。

第2図により在宅投票システム用端末の構成を 説明する。在宅投票システム用端末 9 は文字多重 放送処理部 1 と投票処理部 2 により構成され、願 客がリモートキーパッド (RKP) 8 を操作して特定 のチャネルを選択することによりチューナ部12に て受信した文字多重放送の電波は信号抽出部13に てディジタル信号に変換され、投票処理部 2 に転 送されて記録部16に一旦格納される。

投票処理部 2 では、中央処理装置(CPU)14 制御の元に記録部16に格納されている文字多重放送のディジタル信号を加工して必要な画面データを作成し、文字多重放送処理部11に転送し、文字多重表示制御部17を介してテレビ10に表示される。

顧客は表示された画面を見ながらリモートキーパッド 8 を操作して投票を行う。又、テレビ画面については文字多重処理部1の信号抽出部13及び文字多重表示制御部17を介してそのままテレビ10に送られ通常のテレビ画像を表示する。

. [実施例]

以下、第3図以下の図面に沿って本発明の実施 例を説明する。第3図は本発明による投票方式の 基本的手順であり、第4図(a)~(e)に示す画面A~ Eは本発明の表示画面を示している。

まず、直接投票を行うために、リモートキーパッド8を操作して在宅投票システム用端末9の投票処理部2の動作モード選択2aを「投票」モードにする。

中央処理装置(CPU)14 の制御の元にテレビ10に は第4図(a)に示すように「投票の場名及び発売区 分選択」なるテレビ画面Aが表示される。

ここで、画面Aに表示されている場名の番号及び発売区分の番号を入力すると、入力された例えば投票場名の色が変わって、第4図のに示すように次の「投票入力」画面B, B'が表示される。

この「投票入力」画面Bにおいて、下部に表示されている「式別を入力して下さい」の表示により式別、番号、金額をリモートキーパッド 8 により入力すると、オッズと人気が自動的に表示され、

さらに投資金額の合計が算出される。

画面B は は 気客が第10レースに 投票し、まだ「送信」していないデータの一覧を示す。 このデータを総合センタ4に送信したいときはリモートキーパッド8の「送信」キーを押すことにより、投票処理部2の CPU 14 の制御のもとに回線制御部18が起動され、自動的に投票データを送信する。送信が終了すると自動的に回線を解放する。

ここまでは、発売窓口での投票を在宅投票システム用端末9にて行った場合の一例であるが、次に、本発明の投票方式による投票例を以下に説明する。

まず顧客はリモートキーパッド 8 を操作して在 宅投票システム用端末 9 の投票処理部 2 の動作モード選択 2 a を「表示」モードにする。 C P U 14 の制御のもとにテレビ10 は第 4 図(C)に示すように 「投票の場名、表示区分選択」なる画面 C が表示 される。ここで、場名の番号を入力し表示内容選 択画面にて出走表を選択する。画面 D は出走表で ありであり、この出走表をもとに馬番を入力する。 出走表には図示のように枠組毎に馬名が入力されている。投票する者はこの馬名を確認することにより確実に投票することができる。馬番が連勝復式の場合、選択した馬番は枠に変換され、単勝、連勝単式の場合は馬番が画面Eに表示される。画面Dの処理フローチャートを後述する第5図に示す。

画面 E では、オッズ、人気等が自動的に表示されており、これを参考にして投資金額を入力する。 投票データを総合センタ 4 に送信したい場合は前 に述べた操作方法と同じである。

第5図は画面Dに示す出走表の処理フローチャートである。前述の手順により画面Dの如く出走表を表示すると(1)、投票方式を入力し(2)、馬番を入力する(3)。そして、連勝復式にする否か判断し(4)、連勝復式にする場合にはその馬番を入力し(5)、確認のキー入力を行う(6)。連勝復式にしるらにはそのまま確認のキー入力を行う。さらによる協式にする否か判断し(7)、連勝複式にする場合は枠組を検索し(8)、画面Eの如く表示する(9)。連

勝複式にしない場合はそのまま画面 E の如く表示する(9)。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、馬名選択による投票方式を用いると、操作性がよくなり、かつ好きな馬の組合せで投票を行うことができ頭 客へのサービス性の向上につながる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の在宅投票システム用端末による投票方式の原理図、

第2図は本発明による在宅投票システム用端末 の構成例、

第3図は本発明による在宅投票システム用端末 による投票方式の基本的手順を示す図、

第 4 図(a)~(e)は本発明の実施例としての各画面 表示の例、

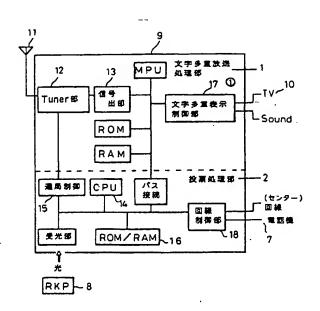
第5図は第4図(d)に示す出走表の処理フローチャート、及び

第6図は従来の電話投票システムの構成例を示

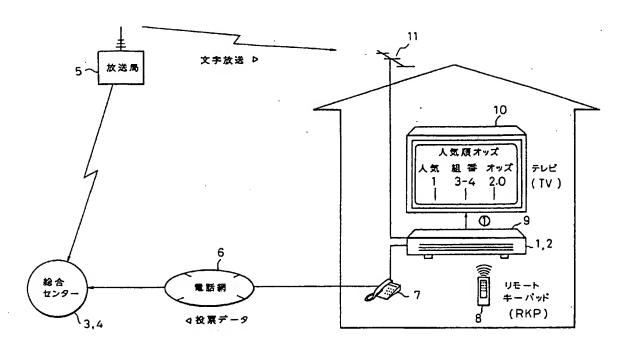
す図である。

(符号の説明)

- 1 … 文字多重放送処理部、
- 2 … 投票処理部、
- 3…電話投票システム、
- 4…総合センタ、
- 5…放送局、
- 6…當話網、
- 7…電話機、
- 8…リモートキーパッド、
- 9…在宅投票システム用端末、
- 10…テレビ、
- 11…アンテナ。

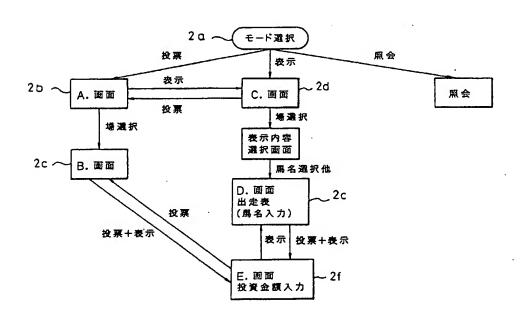


本発明による在宅投票システム用端末の構成例 第12 望



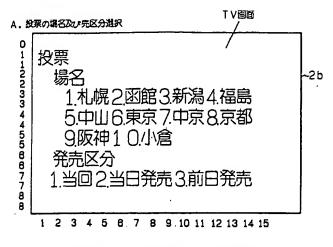
本発明の在宅投票システム用端末による投票方式の原理図

第1回



本発明の投票方式の基本的手順を示す図

第 3 図

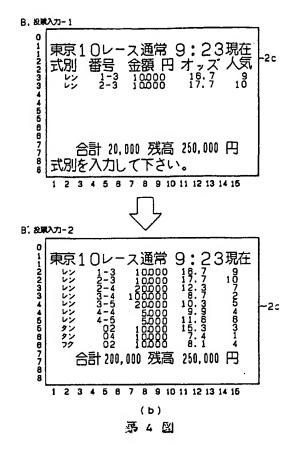


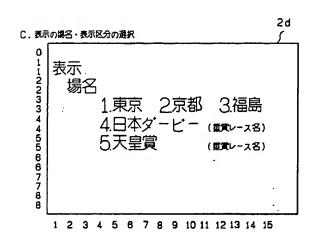
- ① 場名を指定 ── 指定された場名の色が変わる。
- ② 発売区分の入力 ---- 次画面へ

本発明の一実施例画面表示例

(a)

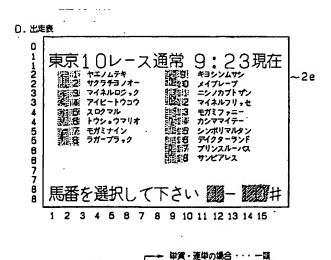
蒸 4 凶





① 場名を指定 ── 次回面へ

(c) 第 4 選

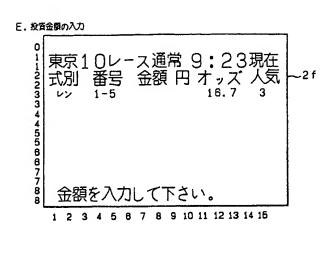


(d) 荔 4 図

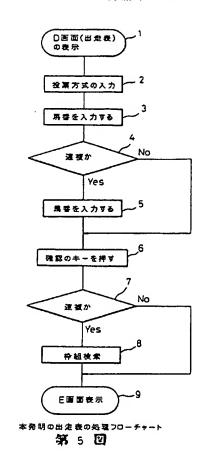
連接の場合・・・・・二頭

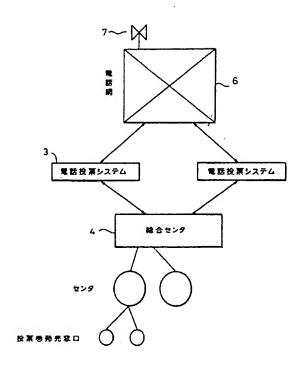
思番の入力 -

0



(e) 為 4 図





従来の電話投票システムの構成例 第.6 図